

台風には

十分な備えを

台風が日本に上陸しても「今までは大丈夫だったから」と考えないで、テレビやラジオなどで、冷静に情報収集をし、的確に行動するようにしましょう。また、自分の住んでいる地域の地理的条件をよく確認して、早めに手を打つこ

とも大切です。

台風以外の災害にも必要なことですが、家族会議で全員の避難場所を確認しておくことも大切です。(市民便利帳89ページ参照)

台風に備え

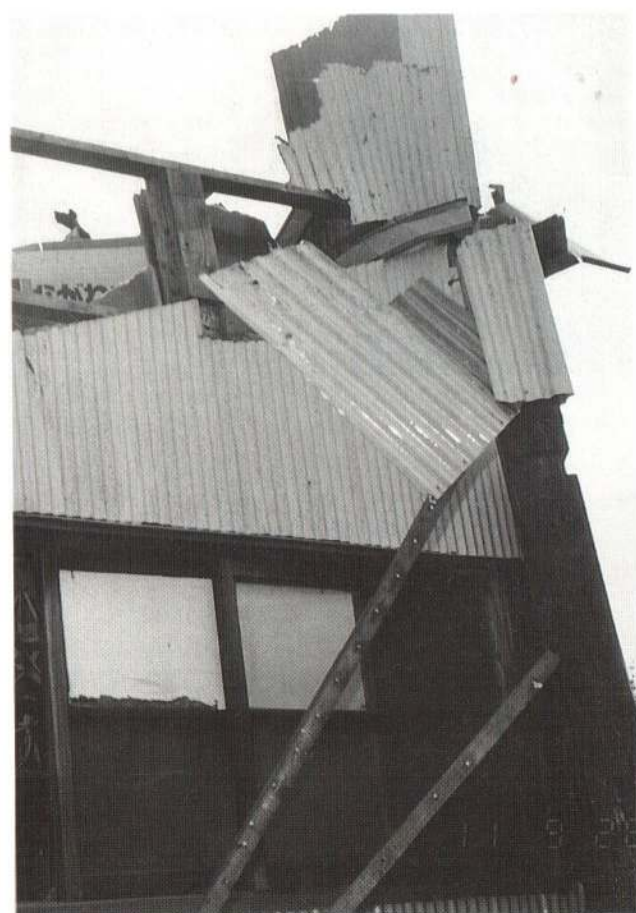
準備しておくもの

- ・ 接近の可能性があったら飲料水を用意しておきましょう。
- ・ 最低限の非常食を確保しておきましょう。
- ・ 乳児のいる家庭では、粉ミルク、おむつなどを十分に用意しておきましょう。
- ・ 洗濯ができなくなることを考えて、予備の下着を十分に用意しておきましょう。
- ・ 医薬品、貴重品をいつでも持ち出せるようにしておきましょう。
- ・ 懐中電灯やラジオもいつでも持ち出せるようにしておきましょう。また、予備の電池は常に確認しておきましょう。

建物の備えも

忘れずに

- ・ 大工道具は、最小限用意しておきましょう。
- ・ 雨戸のない家は、南向きのベランダの窓に、毛布やカーペットなどをくぎで張りつけ、風圧や



飛来物による破壊に備えておきましょう。

- ・ 強烈な台風ときは、雨戸や窓が破壊されると家全体の受ける被害が大きくなります。どんな住居でも、方位に関係なく窓を補強しておくことが無難です。
- ・ 植木や煙突、アンテナ、塀などは支柱や針金、ロープなどで補強しておきましょう。

※土砂崩れや河川の洪水の恐れがある場合は、速やかに大館広域消防本部 ☎119 番または、市役所土木課 (☎49-3111 内線304) へご連絡ください。

台風とは?

熱帯地方に発生するいわゆる熱帯低気圧の一種で、「風速の平均が秒速十七メートル以上となるもの」を台風と称しています。猛烈な強風、ばく大な降雨量、台風を中心の異常な気圧下降という三つの性質を備えている気象上の現象です。台風の勢力が弱くなると、よく「温帯低気圧になりました」との報道がありますが、これで安心はできません。完全に通り過ぎるまで十分に注意する必要があります。